

救急安心センターおおさかに関するアンケート調査結果

1 調査目的

利用された方の有用度（満足度）や利用後の意識等について調査することにより、今後の当該事業の円滑な運営に必要な施策等の検討資料とすることを目的として実施しました。

2 調査対象者

大阪市と府内全域の住民を対象として、実際に救急安心センターおおさかを利用した1000名(大阪市内在住500名、大阪市内外在住500名)の調査を行いました。下の表は各地域の人口分布割合に基づく標本の数を表しています。

	希望 標本数	獲得 標本数	地域
全 体	1,000	1,000	大阪府域
大阪市	500	500	大阪市
北エリア	150	150	豊中市・池田市・吹田市・高槻市・茨木市・箕面市 摂津市・島本町・豊能町・能勢町
東エリア	155	155	守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・東大阪市・大東市 門真市・四條畷市・交野市
中エリア	55	55	富田林市・河内長野市・松原市・柏原市・羽曳野市 藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村
南エリア	140	140	堺市・岸和田市・泉大津市・貝塚市・泉佐野市・和泉市 高石市・泉南町・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町

3 調査期間

令和5年12月1日から令和5年12月6日

4 調査実施機関

株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

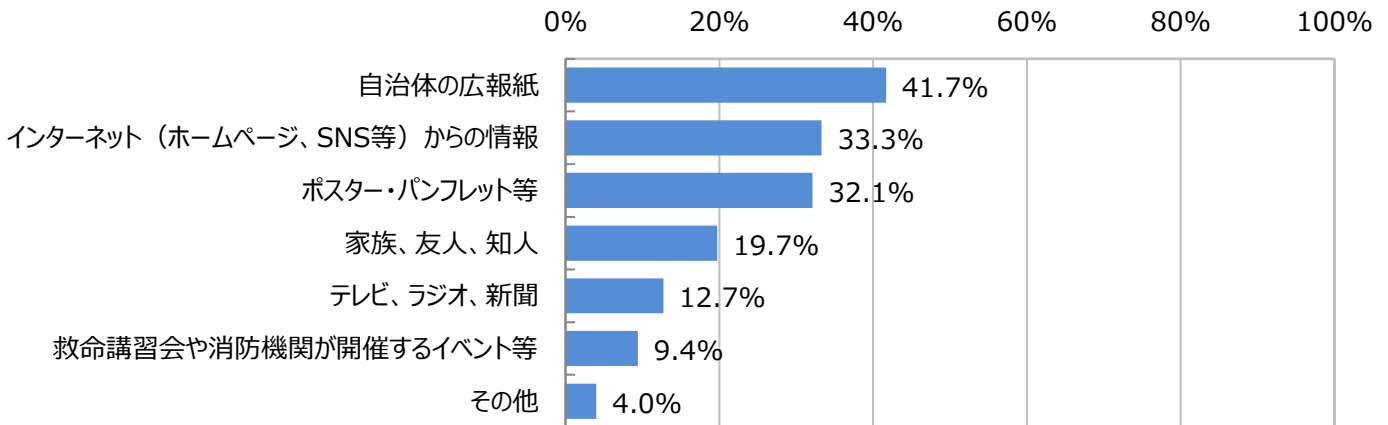
5 調査方法

インターネットを利用したウェブアンケート調査

「救急安心センターおおさか」に関するアンケート意識調査結果（詳細）

Q 1 救急安心センターおおさかは、何を通じて知りましたか？（複数回答可）

■回答対象者=1,000



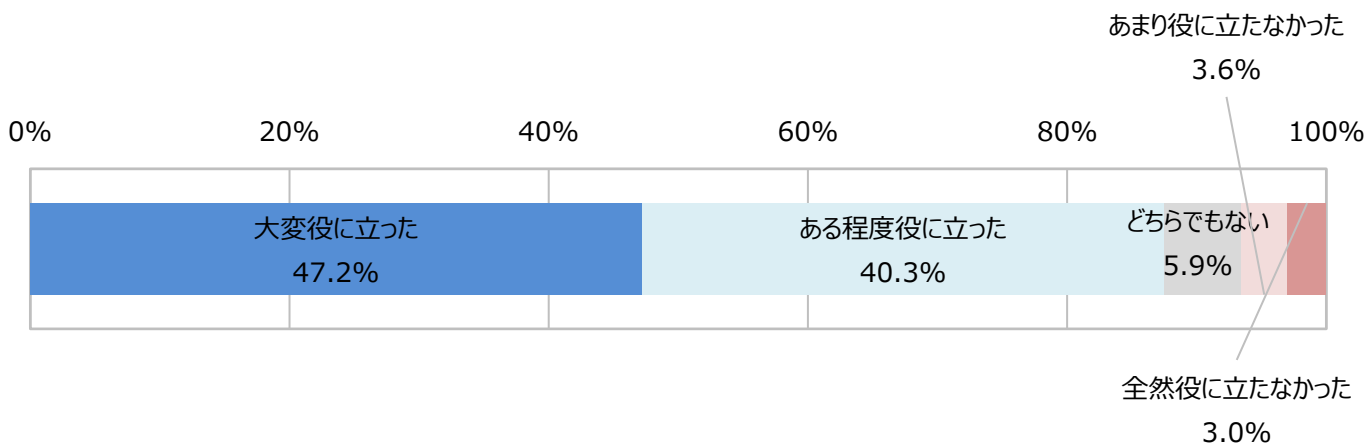
【全体的な傾向】

広報媒体としては「自治体の広報誌」が最も多く全体の41.7%、「ポスター・パンフレット等」が30.7%と紙媒体で認知した方が全体の72.4%を占めるという結果となりました。

また、インターネット（ホームページ、SNS等）からの情報により認知した方は33.3%と2番目に多い結果となりました。

Q 2 救急安心センターおおさかは、役に立ちましたか？

■回答対象者= 1,000

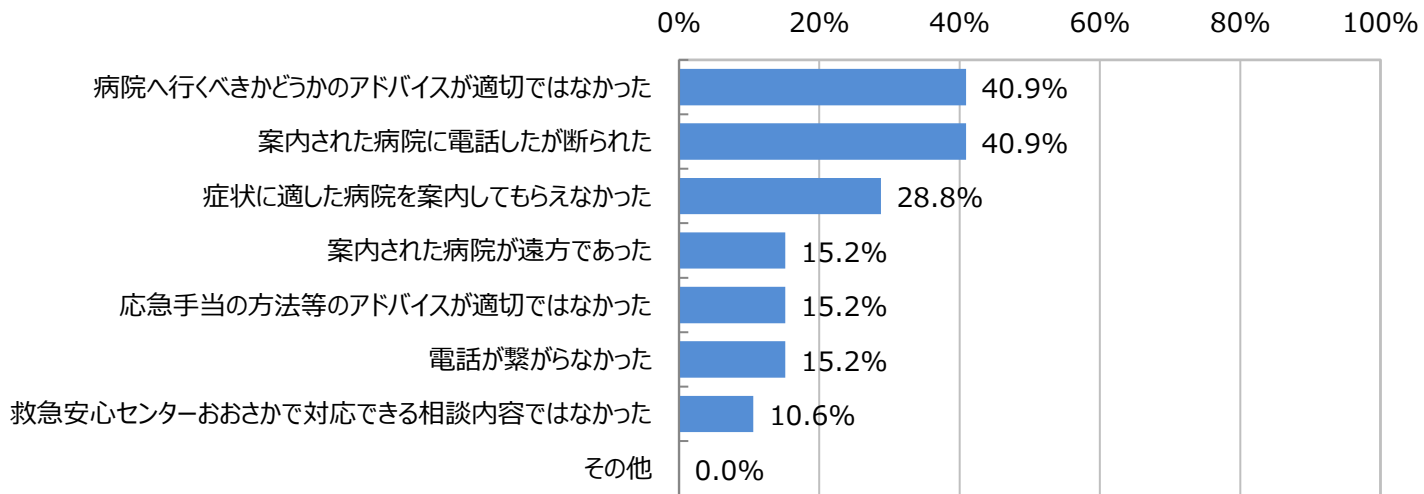


【全体的な傾向】

「大変役に立った」、「ある程度役に立った」の合計が87.5%を占めるという結果となりました。

Q 3 前問で「あまり役に立たなかった」又は「全然役に立たなかった」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？（複数回答可）

■回答対象者=66

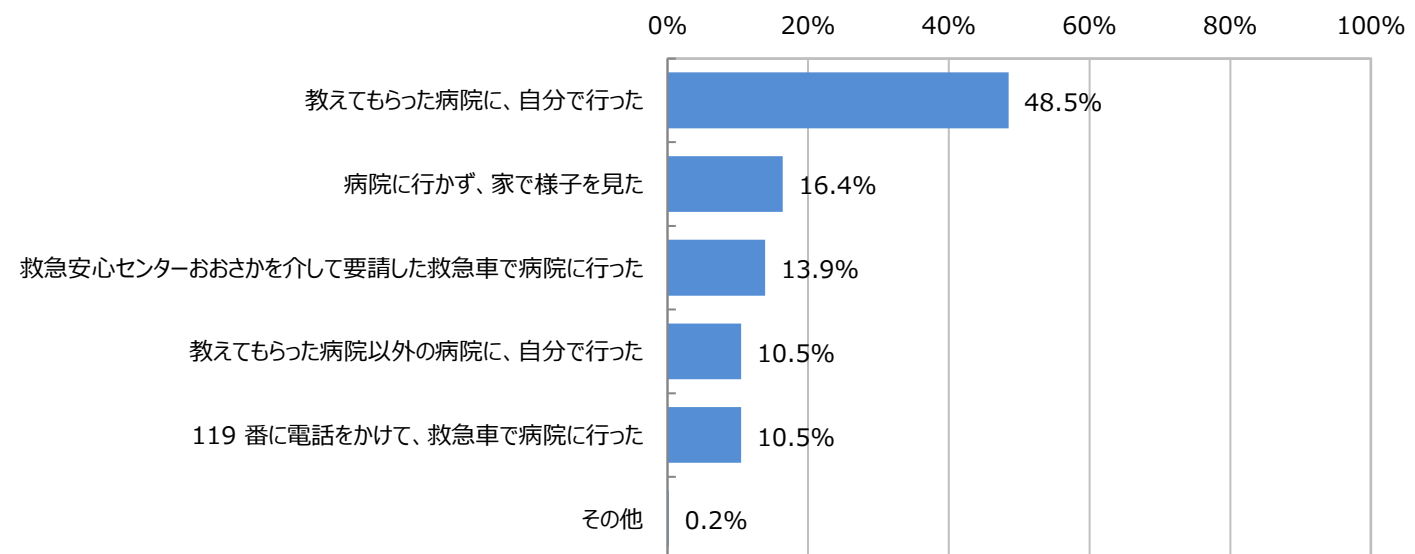


【全体的な傾向】

「病院へ行くべきかどうかのアドバイスが適切ではなかった」と、「案内された病院に電話したが断られた」の割合が同率で、40.9%を占めました。

Q 4 救急安心センターおおさかで相談後、どうされましたか？

■回答対象者=1,000

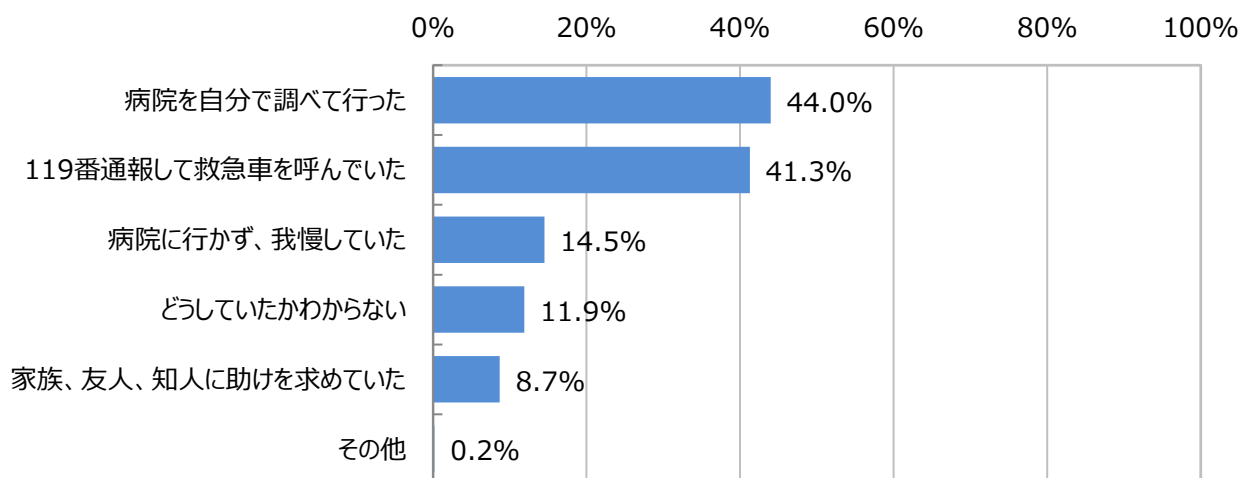


【全体的な傾向】

「教えてもらった病院に、自分で行った」という方が、48.5%で最も高い結果となりました。

Q 5 救急安心センターおおさがなかったら、その時どうしていたと思いますか？（複数回答可）

■回答対象者=1,000



【全体的な傾向】

「病院を調べて自分で病院へ行った」が最も多くの44.0%、次いで「119番通報して救急車を呼んでいた」が41.3%という結果になりました。

Q 6 今後も救急安心センターおおさが利用しようと思いますか？

■回答対象者=1,000



【全体的な傾向】

「思う」と回答された方が、90.7%を占めるという結果となりました。